

科目ナンバリング		U-LAS07 10005 LJ31							
授業科目名 <英訳>		日本社会論 Introduction to Japanese Society				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 木村 純	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		日本理解		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	木4		配当学年	1 回生		対象学生 留学生
[授業の概要・目的]									
この講義では、日本社会の成り立ちから各時代を通じて、社会がどのように変化してきたのかについて、要点を抑えながら把握する。また、社会の変化をいくつかの転換点で捉え、特に近・現代社会を切り開く“近代化”が果たした役割やその移行の過程で起こった出来事について学ぶ。そのうえで、現代社会の新たな局面であらわれた「リスク」や加速する「個人化」という観点から、現代日本社会が直面する諸問題について考察する。									
[到達目標]									
1. 日本社会の構造や制度について、社会変動の転換点を踏まえながら、過去から現在にわたって理解する。 2. 上記で学ぶ事柄が、現代日本社会の意識構造の基盤として、現代的諸問題をどのように形成し、影響を与えているのかについて理解する。									
[授業計画と内容]									
第 1回	講義のすすめかた								
第 2回	日本社会の原風景：地理的条件と日本の特徴								
第 3回	過去の日本社会：古代専制国家								
第 4回	過去の日本社会：中世封建制								
第 5回	過去の日本社会：近世封建制								
第 6回	学生発表（出身国・出身地域との比較）、ディスカッション								
第 7回	近代化による社会変容：明治期								
第 8回	近代化による社会変容：大正期から第二次世界大戦後まで								
第 9回	近代化による社会変容：高度経済成長から現代まで								
第10回	日本的集団主義：これまで語られてきたこと								
第11回	学生発表（出身国・出身地域との比較）、ディスカッション								
第12回	現代日本社会における問題：日本的働き方								
第13回	現代日本社会における問題：教育の現場はどうなっているのか？								
第14回	現代日本社会における問題：家族の形態はどのように変化したのか？								
第15回	講義の内容の振り返り、まとめ								
* 基本的に上記の順序で講義をすすめるが、講義の進捗状況により、順番や回数、講義内容を変更する場合がある。									
[履修要件]									
日本語・日本文化研修生専用科目として開講する。									
-----日本社会論(2)へ続く↓↓↓-----									

日本社会論(2)

[成績評価の方法・観点]

口頭発表・ディスカッションへの参加度（30％）、および期末レポート（70％）。

[教科書]

使用しない
適宜、プリント等を配布する。

[参考書等]

（参考書）

富永健一 『日本の近代化と社会変動』（講談社学術文庫）ISBN:978-4061589520

小熊英一 『日本社会のしくみ』（講談社現代新書）ISBN:978-4065154298

高谷好一 『『世界単位日本』』（京都大学出版会）ISBN:978-4814000791

吉見俊哉 『ポスト戦後社会』（岩波新書）ISBN:978-4004310501

高野陽太郎 『「集団主義」という錯覚』（新曜社）ISBN:978-4788511156

[授業外学修（予習・復習）等]

講義内でも適宜指示するが、参考書をもとに予習・復習をしてください。

[その他（オフィスアワー等）]

講義終了後に随時受け付けます。

[主要授業科目（学部・学科名）]